



平成25年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年6月6日

上場会社名 株式会社東京楽天地 上場取引所 東
 コード番号 8842 URL <http://www.rakutenchi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山田啓三
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 岡村 一 (TEL) 03(3631)5195
 四半期報告書提出予定日 平成24年6月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年1月期第1四半期の連結業績(平成24年2月1日～平成24年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年1月期第1四半期	2,309	2.0	327	41.1	379	163.8	181	—
24年1月期第1四半期	2,263	△5.7	232	△29.7	144	△59.5	△210	—

(注) 包括利益 25年1月期第1四半期 286百万円(—%) 24年1月期第1四半期 △346百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年1月期第1四半期	3.03	—
24年1月期第1四半期	△3.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年1月期第1四半期	33,414	25,067	75.0	418.56
24年1月期	33,904	25,066	73.9	418.53

(参考) 自己資本 25年1月期第1四半期 25,067百万円 24年1月期 25,066百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年1月期	—	3.00	—	5.00	8.00
25年1月期	—	—	—	—	—
25年1月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年1月期の連結業績予想(平成24年2月1日～平成25年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,500	△3.6	600	△0.1	640	20.3	390	—	6.51
通期	9,100	△3.5	1,340	0.5	1,410	9.3	860	671.7	14.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(注1) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(注2) 平成24年2月1日をもって、当社は、楽天地建物株式会社（当社の非連結子会社）を吸収合併し、株式会社楽天地サービス（当社の連結子会社）は、株式会社アルフィクス（当社の非連結子会社）を吸収合併いたしました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年1月期1Q	65,112,187株	24年1月期	65,112,187株
② 期末自己株式数	5,222,956株	24年1月期	5,220,688株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	59,890,385株	24年1月期1Q	59,898,063株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) その他	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、民間設備投資に持ち直しの動きがみられ、個人消費も増加してきているものの、海外経済動向の影響により依然として先行き不透明な状況にあるなかで、復興需要等を背景として景気は緩やかに回復しつつ推移いたしました。

このような状況下において、売上高は2,309百万円と前年同四半期に比べ45百万円(2.0%)の増収となり、営業利益は327百万円と前年同四半期に比べ95百万円(41.1%)の増益、経常利益は379百万円と前年同四半期に比べ235百万円(163.8%)の増益、四半期純利益は、前年同四半期に計上した「資産除去債務に関する会計基準」の適用に伴う影響額がなくなったことなどから181百万円と前年同四半期に比べ392百万円の増益(前年同四半期は210百万円の四半期純損失)となりました。

報告セグメントの業績は次のとおりであります。

(不動産賃貸関連事業)

不動産賃貸事業では、主力の楽天地ビルをはじめとする各ビルにおきましては、引き続き堅調に稼働いたしました。また、ビルテナントに対してはきめ細かな対応に努め、「グルメスタンプラリー」や「チケ得」などの販促活動を継続して顧客満足度の向上を図りましたが、一部テナントの賃料減額がありましたので、売上高は前年同四半期並みとなりました。

ビルメンテナンス事業では、引き続き新規物件の獲得に全力を挙げましたが、価格競争激化の流れが続いていることから、前年同四半期を下回りました。

以上の結果、不動産賃貸関連事業の売上高は1,290百万円と前年同四半期に比べ7百万円(0.6%)の減収となりましたが、セグメント利益は、前年同四半期に発生した震災被害の修繕費がなくなったことなどから573百万円と前年同四半期に比べ19百万円(3.6%)の増益となりました。

(娯楽サービス関連事業)

映画興行事業では、「ALWAYS 三丁目の夕日'64」「映画ドラえもん のび太と奇跡の島〜アニマル アドベンチャー〜」「劇場版 SPEC〜天〜」等が好稼働し、前年同四半期を上回りました。

温浴事業では、「楽天地天然温泉 法典の湯」は震災による休業がなくなったことにより、また、「天然温泉 楽天地スパ」は知名度が高まりお客様が増加したことにより、前年同四半期を上回りました。

フットサル事業では、「楽天地フットサルコート錦糸町」「楽天地フットサルコート調布」が引き続き堅調に稼働し、前年同四半期を上回りました。

以上の結果、娯楽サービス関連事業の売上高は677百万円と前年同四半期に比べ33百万円(5.1%)の増収となり、セグメント利益は、不採算のゲームセンター事業から撤退したことなどから34百万円と前年同四半期に比べ59百万円の増益(前年同四半期は25百万円のセグメント損失)となりました。

(飲食その他事業)

飲食事業では、ドトールコーヒー系フランチャイズ店11店は昨年の震災後、一部店舗において休業や営業時間の短縮を行い売上高が落ち込みましたが、この影響がなくなったことなどから前年同四半期を上回りました。

その他の事業では、ダービービル売店は、震災による競馬開催中止の影響がなくなり、宝くじ販売についても、ジャンボ宝くじの販売が好調だったことなどから、前年同四半期を上回りました。

以上の結果、飲食その他事業の売上高は341百万円と前年同四半期に比べ20百万円(6.4%)の増収、セグメント利益は、16百万円と前年同四半期に比べ12百万円(287.8%)の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は33,414百万円と前連結会計年度末に比べ489百万円の減少となりました。これは主として、現金及び預金が増加した一方で、有価証券が償還となったこと、短期貸付金が返済されたこと、有形固定資産の減価償却がすすんだこと、およびグループ会社合併により子会社株式がなくなったことによるものであります。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は8,347百万円と前連結会計年度末に比べ490百万円の減少となりました。これは主として、浅草事業場のテナントに対する立退補償金の支払いにより、未払金が減少したことによるものであります。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は25,067百万円と前連結会計年度末に比べ772千円の減少となりました。これは主として、四半期純利益を計上したこと、その他有価証券評価差額金が増加したこと、および配当金を支払ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成24年3月14日発表の数値を変更しておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、平成24年2月1日をもって、当社は、楽天地建物株式会社(当社の非連結子会社)を吸収合併し、株式会社楽天地セルビス(当社の連結子会社)は、株式会社アルフィクス(当社の非連結子会社)を吸収合併いたしました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 追加情報

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更および過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,767,521	2,157,884
売掛金	205,908	214,853
有価証券	2,470,475	2,269,046
その他	877,901	364,443
貸倒引当金	△32	△47
流動資産合計	5,321,774	5,006,181
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,423,464	17,142,931
土地	5,535,216	5,654,309
その他(純額)	385,704	486,303
有形固定資産合計	23,344,385	23,283,545
無形固定資産	257,120	303,771
投資その他の資産		
投資有価証券	3,682,023	3,637,836
その他	1,299,243	1,183,232
投資その他の資産合計	4,981,267	4,821,068
固定資産合計	28,582,772	28,408,385
資産合計	33,904,547	33,414,567

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	306,706	335,222
未払法人税等	19,755	187,342
賞与引当金	46,383	103,272
事業整理損失引当金	225,700	27,221
その他	2,128,389	1,631,765
流動負債合計	2,726,934	2,284,824
固定負債		
退職給付引当金	550,502	519,804
役員退職慰労引当金	82,774	81,524
資産除去債務	355,668	333,486
受入保証金	5,090,315	5,093,162
その他	31,818	34,456
固定負債合計	6,111,077	6,062,435
負債合計	8,838,011	8,347,259
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,046,035	3,046,035
資本剰余金	3,378,537	3,378,537
利益剰余金	20,520,220	20,416,433
自己株式	△1,962,542	△1,963,219
株主資本合計	24,982,250	24,877,787
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	84,284	189,520
その他の包括利益累計額合計	84,284	189,520
純資産合計	25,066,535	25,067,308
負債純資産合計	33,904,547	33,414,567

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年4月30日)
売上高	2,263,535	2,309,292
売上原価	1,752,664	1,698,219
売上総利益	510,870	611,072
一般管理費	278,685	283,549
営業利益	232,185	327,523
営業外収益		
受取利息	7,744	3,889
受取配当金	9,289	674
持分法による投資利益	—	26,691
投資有価証券売却益	—	26,669
その他	8,503	46,108
営業外収益合計	25,538	104,033
営業外費用		
支払利息	19,919	17,753
持分法による投資損失	20,172	—
固定資産除却損	20,456	698
投資有価証券評価損	38,945	—
事業整理損失引当金繰入額	—	27,221
その他	14,221	5,919
営業外費用合計	113,714	51,592
経常利益	144,009	379,964
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	150,537	—
減損損失	—	8,730
特別損失合計	150,537	8,730
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△6,528	371,234
法人税等	204,149	189,481
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△210,677	181,753
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△210,677	181,753

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△210,677	181,753
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△136,314	105,236
その他の包括利益合計	△136,314	105,236
四半期包括利益	△346,992	286,989
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△346,992	286,989
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年2月1日 至 平成23年4月30日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注2)
	不動産賃貸 関連事業 (千円)	娯楽サービス 関連事業 (千円)	飲食その他 事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	1,297,990	644,838	320,706	2,263,535	—	2,263,535
セグメント間の内部 売上高または振替高	111,752	6	183	111,942	△111,942	—
計	1,409,743	644,845	320,889	2,375,477	△111,942	2,263,535
セグメント利益 (△はセグメント損失)	553,843	△25,666	4,309	532,487	△300,301	232,185

- (注) 1. セグメント利益 (△はセグメント損失) の調整額△300,301千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△278,685千円、セグメント間取引消去△21,616千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益 (△はセグメント損失) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年2月1日 至 平成24年4月30日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注2)
	不動産賃貸 関連事業 (千円)	娯楽サービス 関連事業 (千円)	飲食その他 事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	1,290,191	677,902	341,198	2,309,292	—	2,309,292
セグメント間の内部 売上高または振替高	104,120	52	205	104,377	△104,377	—
計	1,394,311	677,955	341,403	2,413,670	△104,377	2,309,292
セグメント利益	573,640	34,156	16,710	624,507	△296,983	327,523

- (注) 1. セグメント利益の調整額△296,983千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△283,549千円、セグメント間取引消去△13,434千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損またはのれん等に関する情報

「不動産賃貸関連事業」において、取り壊し予定の賃貸マンション（東京都港区）について減損損失を認識しました。当該減損損失の計上額は、8,730千円であります。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) その他

(企業結合等関係)

当第1四半期連結会計期間(自 平成24年2月1日 至 平成24年4月30日)

共通支配下の取引等

- 1 結合当事企業の名称および事業の内容、企業結合日、企業結合の法的形式、結合後企業の名称およびその他取引の概要

(1) 当社と楽天地建物株式会社の合併

① 結合当事企業の名称およびその事業の内容

結合当事企業の名称：株式会社東京楽天地
事業の内容：不動産賃貸業、映画興行
結合当事企業の名称：楽天地建物株式会社
事業の内容：不動産賃貸業

② 企業結合日

平成24年2月1日

③ 企業結合の法的形式

当社を存続会社、楽天地建物株式会社(当社の非連結子会社)を消滅会社とする吸収合併であります。

④ 結合後企業の名称

株式会社東京楽天地

⑤ その他取引の概要に関する事項

不動産賃貸業を営む楽天地建物株式会社を合併することにより、経営の効率化をはかることを目的としております。

(2) 株式会社楽天地サービスと株式会社アルフィックスの合併

① 結合当事企業の名称およびその事業の内容

結合当事企業の名称：株式会社楽天地サービス
事業の内容：ビルメンテナンスならびに駐車場の経営
結合当事企業の名称：株式会社アルフィックス
事業の内容：広告代理業、催事、展示物等の企画、製作、実施およびその請負

② 企業結合日

平成24年2月1日

③ 企業結合の法的形式

株式会社楽天地サービス(当社の連結子会社)を存続会社、株式会社アルフィックス(当社の非連結子会社)を消滅会社とする吸収合併であります。

④ 結合後企業の名称

株式会社楽天地サービス(当社の連結子会社)

⑤ その他取引の概要に関する事項

株式会社アルフィックスのイベント事業を株式会社楽天地サービスに移管し、経営の効率化をはかることを目的としております。

2 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)および「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)に基づき共通支配下の取引として処理しております。